

平成 27 年 第 7 回 定例会議

教育委員会会議録

平成27年 9 月 9 日

羽島郡二町教育委員会

平成27年 第7回羽島郡二町教育委員会定例会会議録

平成27年9月9日（水）午前9時22分から、岐阜メディアコスモス 1階 あつまるスタジオで開催した。

その要旨は次のとおりである。

1 本日の出席委員は、次のとおりである。

委員長	杉江正博
委員長職務代理	岩井弘榮
委員	松原宗興
委員	久納万里子
委員（教育長）	宮脇恭顯

1 本日の説明のため出席した者は、次のとおりである。

教育長（再掲）	宮脇恭顯
総務課長	松原和成
学校教育課長	森透
社会教育課長	飯田潤子

1 本日の書記

総務課長（管理監）松原和成

1 本日の議案は次のとおりである。

- 報告
- ・代決処分の報告について

協議題

- 1) 第1回運営協議会の開催について
- 2) 市町村教育委員会連合会研究総会について
- 3) 教育委員県外研修視察先について
- 4) 次回教育委員会定例会議及び他市町村教育施設訪問の開催（案）について
- 5) その他

委員長 平成27年9月9日（水）午後9時22分、岐阜メディアコスモス 1階 あつまるスタジオで平成27年第7回羽島郡二町教育委員会定例会議の開会を宣した。

議事日程により会期は本1日とする旨を会議に諮ったところ、異議なしと認め、会期は本日1日限りに決定した。

前回会議録の承認についての報告を求めた。

総務課長

前回会議録を朗読し報告をした。

委員長

同報告について質疑を求めたところ、質疑がなかったので「前回会議の承認について」は報告のとおり承認された旨を述べた。

続いて、教育長の報告を求めた。

教育長

1 はじめに、夏季休業中に大きな事故なく前期後半が迎えられた。ここのところ地域社会の網の目からこぼれたような悲惨な事件が起きて、地域の方々の学校支援や学校経営への参画の整備が大切だと感じている。

教職員だけではなく地域の方々の参画を得て、「ともに次代の地域を支える若者を育てる意識」をもってもらえるような配慮が必要である。

・支援と言う立場ではなく、共に指導者という立場で、教育に携わっていただいている。

・指導者は児童生徒を知らなくてはならない。地域の一員として、「わたしは、あなたを次世代の地域を担うすばらしい人材だと考えています。」というメッセージを送り続けていただくことを願います。

・くり返して教育に関わっていただくようにするとともに、地域で子供たちを育てていただくことを願います。

地域で知る前に学校で諸活動を通して児童生徒に関わっていただき、地域の活動になかなか参加ができない児童生徒を知ってもらうことが必要だ。

暑い夏、中学校の部活動の指導は本当に大変だと感じた。スポ少の加入率は20%以下である。炎天の中で必死にスポーツをしている児童生徒を見ると、もっともっとスポーツに親しむ機会を作らなければならないと痛感する。保護者は大声をかけたリ、給水の準備をしたり、声を掛け合って当然のように行動をされている。

ラジオ体操にもこない、スポ少や部活動にも参加していない児童生徒と毎日のように炎天のなか活動に参加している児童生徒には明らかに差が出る。保護者にもっと子育てについて気付いて欲しい。

2 中体連大会について、地区大会、県大会、東海大会と活躍した。羽島市5校と羽島郡2校で合せて7校で、16部活があり8部活優勝をしている。また、個人戦で8人が優勝し、岐南中1人が全国大会に出場した。両中学校とも屋内競技は強くなってきている。岐南中サッカー一部は、県大会で3位であった。笠松中ハンドボール部は早朝から頑張っていたので、生徒だけではなく、指導された先生、応援の保護者の姿を見ると勝たせてやりたかったと強く思う。【別紙資料】

3 立志塾の開校について、2回の講義が終わった。29名で立志塾を開講した。岩井弘榮塾長の「参加する皆さんに期待すること」として、これから先50年ほどまでを想定して、その時代に地域を担う若者になってほしいと講義をしていただいた。昨年度と異なって、講義が終わってから自己紹介、中学生は担当決めをしたが、大変リラックスしててきばきとこなしていた。

本年度は日原暢子さんに講義をお願いして、その箏にかける夢について講演と演奏をしていただいた。児童生徒にできるだけ年齢に近い世代に講義をお願いしたい、女性の講師を加えたい、文化・芸能という分野で「夢

仕事」を志す講師としたい、などの理由から日原さんに講義と演奏を聞かせていただいた。当日は少々体調を崩されていたにも関わらず、小中学校のときのこと、志をもったときのこと、続けてこられたこと、これからの夢、と順を追って、質問を加えながら進めていただいた。3つの話をした。

- ① 続けていること、努力していることが自分のよさで、目標をもって続けたことはすべて個性で長所だ。たとえ、実らなくても、結果が出なくても、努力した過程は尊い自分のよさで財産だ。
- ② 「いろいろな人に支えられて自分色がついた。」という講義の中で話されたことばを取り上げて、自分の努力で自分らしさが出るのではなくて、人の助言や褒めていただいたことばで、自分が確かめられ、今の自分があること。
- ③ 「東日本大震災後に避難所生活をされている人に、『今何が欲しいか』と問うと、『音楽が欲しい』と答えられた。どうしてだろうか。」と問われた。口に出されなかったが、質問に答えた生徒は「感情だと思う。何もかも無くし生きているという実感がなくなってしまっているときに、音楽を聞いて感動したりするのは生きているんだという証拠だと感じるからだと思います。」と答えた。日原先生も納得された回答だった。名和先生にお願いして、DVDを作っていたいただいた。

また、岐南町商工会会長の黒田隆委員さんの話は、実行委員会、岐南町まち・ひと・しごと総合戦略会議などの会で話を聞いたときに、「何をするかを決めることが先で、その後、実行するために何をどのようにするかを考える習慣をつけることが大切だ。目標設定を大切にされた戦略が必要だ。」と話された。

今回の立志塾では、この「目標設定能力」をつけることも頭において活動させたい。

4 学校のスリム化について、他県を受験する先生増えている。確かに、一宮市は、6%、岐阜市は3%の調整額が上乘せられており、給与上も差がある。何よりも、岐阜県の教職員の多忙化が理由だろうと考える。幾つかの提案として次のことが言える。

- ・授業に教科書を使う。平成22年度の冬季の算数講座では提案をしたが、具体的な授業で師範をしなければならぬと考えている。
- ・中学校の教科担任をできるものから（職員の年齢構成や、所属学年等を工夫して）縦にもち、教科部会を成立させ、教科ごとの交流を進める。
- ・「教える」ことから「分かる・できる」という指導観の転換をしていかなければならない。

5 学力学習状況調査について、小学校に関しては、岐阜県の平均は、ほぼ1ポイントの上下で昨年度より向上をしているが算数は算数A：基本問題では県を上回っているものの算数B：活用問題では1.6ポイント羽島郡では下回っている。

中学校では、羽島郡では国語Aは全国平均を1ポイント下だが、そのほかの調査はすべて国平均を上回っている。しかし、県平均と比較すると、数学A以外は最大国語Bの2.5ポイントの差がある。また、極めて

著顕な結果として、二つの中学校の平均ポイントに大きな差があり、一覧表のとおりである。学習状況調査では別表のように大きな取り組みの差があることがわかる。

岐南中学校では課題をきちんともち目標を持って学習する手配や、授業の終わりに、学んだことを振り返る時間も位置付けている。また、話し合いで問題を解決する体験も位置付けているが、学習の手配はよく行われているが、家庭での学習（予習や復習）に大きな差がある。

【別紙資料】

以上を説明した。

- 委員長 何か質問等はありませんか。
- 岩井委員 児童生徒に対する地域からの支援活動について、2年前位に笠松町で組織立てて行ったが、教育委員会として組織的に行うことを大前提に考えて行かなければならない。多分あれで終わりではなく、次から次へと出てきている。教育委員会として、地域も含めて支援体制を行うことを謳っても良い。
- 久納委員 学習支援ボランティアの方は、小学校で始まって昨日で2回目、私もボランティアに登録した。地域の方が主体になって、先生に「これをやりたいので資料を用意して」地域の方が先生に投げ掛けて、地域の方が主体になって行っている。
- 教育長 お二人から言っていたように、2年前に生徒指導の体制、参画の仕方は色々その方々によって違って、1回だけ声掛けだけするなど、いろんな体験を整備していただいている。いじめがある場合は直ぐに集まっていたとか、組織を整備することは意義がある。活力ある地域コミュニティを構築することを考えている。
- 岩井委員 コミュニティの実施と共に考えて行く。同時スタートでなくても良い。
- 教育長 中学校では、職場体験行っていますが、企業の方に学級に入って話を聞き、核としたコミュニティースクールを準備していただきたい。
- 委員長 何か質問等はありませんか。特になし。
- 総務課長 続いて、報告代決処分の報告について事務局に説明を求めた。
- 委員 報告第12号「代決処分の報告について」岐南町総合調理センター運営委員会委員の委嘱について報告する旨を報告した。
- 委員 同報告について、質疑を求めたところ異議がなかったので、教育委員会の承認とした。
- 続いて、平成28年度使用小・中学校用教科用図書の岐阜地区採択協議会の選定結果について報告について事務局に説明を求めた。
- 学校教育課長 平成28年度使用小・中学校用教科用図書の岐阜地区採択協議会の選定結果について報告する旨を報告した。
- 委員長 質疑を求めたところ異議がなかったので、教育委員会の承認とした。

委員 長 続いて、10の教育課題についての前期のまとめについて事務局に説明を求めた。

学校教育課長 10の教育課題についての前期のまとめについて報告する旨を報告した。

委員 長 言われたとおり、見ただけで終わるのではなく、必ず、それぞれの学校でどうしたらよいかの検討を充分にさせていただいて、次に繋げるように形にさせていただきたい。

教育 長 去年の6月に、羽島郡二町教育委員会の教育基本計画を作って、その目標設定を定めて、具体的な目標設定を評価するように学校に理解していただいた。

岩井委員 この表を今度の点検評価委員会に提出するのですか。

学校教育課長 これを基にしながら、12月に中間報告を実施し、点検評価委員会の中にも、学校児童も踏まえながら教育委員会の評価として提出する予定である。

委員 長 質疑を求めたところ異議がなかったので、教育委員会の承認とした。

委員 長 続いて、協議題に入る旨を述べた。

協議題 1) 第1回運営協議会の開催について

【日 時】 平成27年10月21日(水) 15:00~16:15

【場 所】 岐南町役場 5階 協議会室

開催することに決定し、その旨を伝えた。

協議題 2) 市町村教育委員会連合会研究総会について

【日 時】 平成27年11月12日(木) 9:30~15:30

【場 所】 大垣市スイトピアセンター

開催することに決定し、その旨を伝えた。

協議題 3) 教育委員県外研修視察先について

【日 時】 11月30日~3日の間 ただし、議会の日程が未定。

【視察先】 英語教育が先進的に進んでいる市町村

開催することに決定し、その旨を伝えた。

協議題 4) 次回教育委員会定例会議及び他市町村教育施設訪問の開催(案)について

【日 時】 平成27年10月21日(水) 13:30~14:45

【場 所】 岐南町役場 5階 協議会室

開催することに決定し、その旨を伝えた。

その他 5) 羽島郡二町立志塾研修について

【実施日】 10月10日(水)~13日(火) 3泊4日

【会 場】 国立乗鞍青少年交流の家
開催することに決定し、その旨を伝えた。

委 員 長 以上で、全議題の審議が終了したので、平成27年第7回羽島郡二
町教育委員会定例会を閉会する。

以上

終了 午前11時00分

平成27年9月9日

委 員 長